【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【公表番号】特表2010-518680(P2010-518680A)
【公表日】平成22年5月27日(2010.5.27)
【年通号数】公開・登録公報2010-021
【出願番号】特願2009-548174(P2009-548174)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/91　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/765　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/93　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　7/173　(2011.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/91　Ｎ
Ｈ０４Ｎ　5/91　Ｌ
Ｈ０４Ｎ　5/93　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　5/91　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　7/173　６１０Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成24年1月25日(2012.1.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
原本を修正した動画をエンコーディングしてファイルに格納する動画修正及び編集方法とは異なり、動画をプログラム化し、動画の構成要素をオブジェクト化して修正及び編集できるようにしたＰＤＭＡ動画の製作方法であって、
ＰＤＭＡ動画を構成するテキスト、グラフィック、ムービー、又はオーディオデータを含むＰＤＭＡ動画資料を各々分離して格納し、
前記ＰＤＭＡ動画資料を結合させて１つの動画を作る結合情報を動画資料と分離してＰＤＭＡ結合情報として独立的に格納し、
前記ＰＤＭＡ結合情報によって前記ＰＤＭＡ動画資料を組み合わせてＰＤＭＡ動画を再合成できるようにすることを特徴とするＰＤＭＡ動画の製作方法。
【請求項２】
ＰＤＭＡ動画を修正する場合には、前記ＰＤＭＡ動画資料を修正又は削除したり、新たな動画資料を追加してＰＤＭＡ動画資料及びＰＤＭＡ結合情報が変更された仮想動画を作り、
前記仮想動画を構成する仮想動画資料とその仮想結合情報とを各々分離して個別的に格納する編集工程をさらに含むことを特徴とする請求項１記載のＰＤＭＡ動画の製作方法。
【請求項３】
前記ＰＤＭＡ動画又は仮想動画を再生するために、該当する結合情報を呼び出して読み取って、前記結合情報の内容の通り動画資料を呼び出して、読み出した動画資料を結合させて動画を再生する工程を含むことを特徴とする請求項１又は２記載のＰＤＭＡ動画の製作方法。
【請求項４】

ＰＤＭＡ動画と関連したデータを有するサーバーコンピュータにネットワークを介して接続するクライアントがＰＤＭＡ動画を修正した場合には、そのＰＤＭＡ動画資料とＰＤＭＡ結合情報の内容を修正して第２仮想動画を作り、

前記第２仮想動画の動画資料と結合情報とを各々分離して個別的に格納する第２編集工程をさらに含むことを特徴とする請求項１又は２記載のＰＤＭＡ動画の製作方法。

【請求項５】

請求項１記載の方法により製作されるＰＤＭＡ動画であるＰＤＭＡサンプルを有線／無線ネットワークと連結されるウェブ上に掲載して、前記ＰＤＭＡサンプルを利用しようとする多数の顧客に顧客の識別番号と適合されるＶＡコードを生成して仮想化動画に分配し、前記分配された仮想化動画を有線／無線ネットワークと連結された顧客の端末を通じて遠隔で編集・修正・製作できるようにし、その動画資料と結合情報をシステムで格納してから顧客の要請時に顧客に各自の仮想化動画として表示させることができるようにすることを特徴とする仮想化動画の分配方法。

【請求項６】

ＰＤＭＡの製作時、動画の構成要素となるテキスト、グラフィック、ムービー、又はオーディオデータを含む動画資料と、該動画資料を動画に結合させる結合情報に分離し、又は動画の構成単位になるフレーム情報を任意に分割し、分割された各々のフレーム情報を各々の個別情報に分離して、

動画の構成要素となるテキスト、グラフィック、ムービー、又はオーディオデータを含む動画資料と、結合情報、フレーム情報、又は個別情報を含む動画結合情報とをＤＢプログラムと連動させて格納し、

ＰＤＭＡはＤＢプログラムに格納された情報を解釈し、ＰＤＭＡは解釈された情報と一致する動画ソースを呼び出して該当データを組み合わせて、動画として再生することを特徴とするＰＤＭＡ動画の再生方法。

【請求項７】

動画の製作時、動画の構成要素となるテキスト、グラフィック、ムービー、又はオーディオデータを含む動画資料と、前記動画資料が結合された結合情報を分離して格納し、動画の構成単位となるフレーム情報を任意に分割することができ、分割された各々のフレーム情報を各々の個別情報に分離、格納することができるようにするＰＤＭＡ方式により製作されたＰＤＭＡサンプルと、前記ＰＤＭＡサンプルのＰＤＭＡコードを有線／無線ネットワークと連結されるウェブ上に掲載して、

ＰＤＭＡサンプルを利用しようとする顧客の所望の通り変換させて、変換されたＰＤＭＡサンプルに対するＰＤＭＡコードと顧客コードとを結合させたＶＡコードを有する仮想化動画に分配し、

前記仮想化動画の分配を受けたクライアントが前記仮想化動画の再生を要請した場合には、前記顧客コードに合うＶＡコードに一致する動画構成情報と動画資料を結合して、仮想化動画を再生することを特徴とするＰＤＭＡ方式の動画分配方法。

【請求項８】

ＰＤＭＡ方式の動画の製作、修正、及び編集を可能にする動画処理システムであって、

動画の構成要素となるテキスト、グラフィック、ムービー、又はオーディオデータを含む動画資料と、前記動画資料が結合された結合情報を分離し、前記結合情報と前記動画資料を再結合させて動画を再生する構成手段（６０２）と、

前記構成手段から生成された動画資料と結合情報を各々格納する資料格納手段（６０６）と、

個別動画に対するＰＤＭＡコードと個別動画が修正された仮想動画に対するＶＡコードを格納するＤＢ手段（６０５）と、

前記ＤＢ手段で前記ＰＤＭＡコードと前記ＶＡコードを格納又は呼び出すようにし、前記構成手段をして動画資料と結合情報とを分離して資料格納手段に格納又は呼び出すようにし、編集が要請される場合に編集モードにして動画に対する情報を変更するようにして、システムの動作を制御する制御手段とを含むことを特徴とするＰＤＭＡ動画の処理シス

テム。
【請求項９】
前記構成手段（６０２）で再生したＰＤＭＡサンプルの仮想動画をクライアントの端末に分配させる分配手段（６０３）と、
前記分配手段（６０３）から分配される仮想動画の伝達を受けて動画として再生させる機能をする再生手段（６０４）とをさらに含むことを特徴とする請求項８記載のＰＤＭＡ動画の処理システム。
【請求項１０】
請求項１、２、５、６、及び７の何れか１項のＰＤＭＡ動画の制作方法、分配方法、及び再生方法の何れかの方法の各工程をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。